



エバの息子セトが生まれた時、エバは、こう言いました。「神さまは、私たちにセトをくださいました。アベルの代わりですね。」セトは心から神さまを信じる人でした。912年も生きたのです。セトのたくさんの子供たちも生まれました。

19



時がすぎ、世代がつぎつぎと代わっていきました。その間に、人々の心は、だんだんときたなくなり、平気で悪いことをするようになりました。神さまは、ついに決心されました。人類をほろぼしてしまおう！そして・・・

20



動物たちも 鳥たちもみんな・・・ほろぼしてしまおう。神さまは人をつくらなければよかったと、悲しく思われました。でもね、神さまをよろこばすことのできるたった一人の人がいたのです。

21



その人はノアという人でした。ノアは、セスのしそんで正しく心もきれいな人でした。彼は、いつも神さまに従って生活していました。ノアは、三人の息子たちにも神さまに従うことを、教えました。

22



さて、ここで神さまは、ノアに一つのことを、計画なさいました。それって、本当にふしぎな、そして、とくべつなことなのです！

23

人類の悲しみの始まり
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。
創世記 3章 - 6章
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺをくらいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくいには、死です。
神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスが十字架で亡くなることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどされましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてください。
もし、あなたがあなたの罪からはなれないなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしゃることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あなたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン
ヨハネによる福音書 3:16
まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！

日本語

Japanese



じんるい かな
人類の悲しみの始まり

文 Edward Hughes 翻訳者 Yuko Kajiki 監修者 Dan Ellrick
絵 Byron Unger; Lazarus 出版社 M. Maillot; Tammy S.

60話の第2話

M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg MB R3C 2G1 Canada

許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



そうなのです。神さまが、すべてをつくられたのですよ。神さまが、一ばんはじめの人アダムをつくられてから、アダムは、妻エバといっしょに、エデンの園に住むようになりました。



二人は神さまに従って、幸せいっぱい毎日すごしていました。ところが、ある日のこと・・・

1

2



ヘビが、エバのところに来て、たずねました。「エバ、神さまは、本当にどの木からも取って食べてはいけないって、言われたのかい？」と。「わたしたちは、どの木の果を食べてもいいのです。ただし、一つの木から以外ね。」とエバは答えました。

3



その果を食べても、さわたても、死んでしまうのです。「あなたたちは、死にっこないよ。」ヘビは、ニヤニヤ笑いながらこう言いました。

4



「ただね、あなたたちは、神のようになるだけさ。」それを聞いたエバは、その果を食べたくなりました。そして、とうとうその果を食べてしまいました。

5



エバは、神さまのことばにそむき果を食べたあと、アダムにも食べるようにすすめました。アダムは、きっぱりとこう言えばよかったのですね。「いや、私は食べないよ。神さまのことばにそむくようなことはしない！」とね。

6



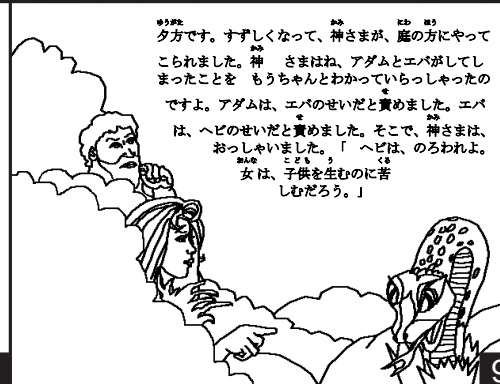
アダムとエバが、罪を犯してしまったときです。かれらは、二人ともはだかであることに気がついたのです。

7



二人は、イチジクの葉をつなぎあわせかんたんな服を作り、自分たちのからだをかくし、神さまにわからないようにそっと木々のしげみにかくれました。

8



夕方です。すずしくなって、神さまが、庭の方に来てこられました。神さまはね、アダムとエバがしてしまったことをもうちゃんとわかっていらしかったのですよ。アダムは、エバのせいだと責めました。エバは、ヘビのせいだと責めました。そこで、神さまは、おっしゃいました。「ヘビは、のろわれよ。女は、子供を生むのに苦しむだろう。」

9



「アダムよ、あなたは、罪を犯してしまったのだから、地はイバラとアザミを生じ、のろわれらるだろう。また、毎日の食物を手に入れるのに、汗を流して苦しむようになるだろう。」

10



神さまは、アダムとエバをそのすばらしい庭から追い出されてしまいました。二人は、罪を犯してしまったから、命をくださった神さまから引きはなされてしまったのです。

11



神さまは、もうだれも庭に入れないように、炎のつるぎを作られました。それから、アダムとエバのために、けもの皮で上着を作られました。でも、神さまは、いったいどこから皮を持ってこられたのでしょうか。

12



さて、しばらくしてアダムとエバに子供が生まれました。はじめの息子カインは耕す者となりました。つぎの息子アベルは、羊をかう者となりました。ある日のこと、カインは、神さまにささげ物として、野菜を持ってきました。また、アベルは、まるまる太ったいちばん良い羊を持ってきてささげました。神さまは、アベルのささげ物を、たいそうよろこばれました。

13



神さまは、カインのささげ物を、よろこばれませんでした。カインは、とても怒りました。けれども、神さまは、こう言われました。「カイン、もしあなたが正しいことをやっているなら、受け入れられないことがあるだろうか。」

14



カインは、自分の怒りをおさえることができません。しばらくたったある日、カインは、とうとうアベルを野原でおそいました。そして・・・なんとアベルを殺してしまったのです。

15



神さまは、カインに話されました。「あなたの弟、アベルはいったいどこにいるのか？」「さあね、私は知りません。」と、カインはうそをつき「神さま、私は弟の審人でしょうか？」と、言いました。神さまは、カインを罰して、耕しても耕しても何ひとつ作物ができないようにされ、地を歩きまわる「さすらう人」とされたのです。

16



カインは、主なる神さまから、去っていきました。その後、カインは アダムとエバの娘と結婚します。かれらは、たくさんの子供たちを育てました。まもなく、カインのまごが生まれ、そしてひまごが生まれ、カインがつくった町は、もう彼の家族たちでいっぱいです。

17



しばらくするうちに、アダムとエバの家族は、ものすごい速さでどんどん、どんどんふえつづけてきました。そのころの人々は、今の私たちよりずっと豊かになりました。

18